

海外安全対策情報
2019年10月～12月

在オークランド総領事館

1 治安情勢・一般犯罪の傾向

(1) テロ関係

2019年3月15日、クライストチャーチにある2カ所のモスクでイスラム教徒をターゲットとした無差別乱射事件があり、51人が亡くなりました。犯人として白人至上主義を唱える豪州国籍の男性が逮捕され、この事件を受けてNZ政府は武器の規制強化に乗り出しました。ニュージーランドも他国と同様テロの危険から免れられないというのがニュージーランド政府の見解です。NZ首相府は、「当国もイデオロギー、政治又は宗教上の過激思想を有する個人や小グループにより、攻撃される可能性は否めませんが、団結した強い社会を築き上げることが、テロに対する最大の防衛策となる」と述べています。

(2) 一般治安関係

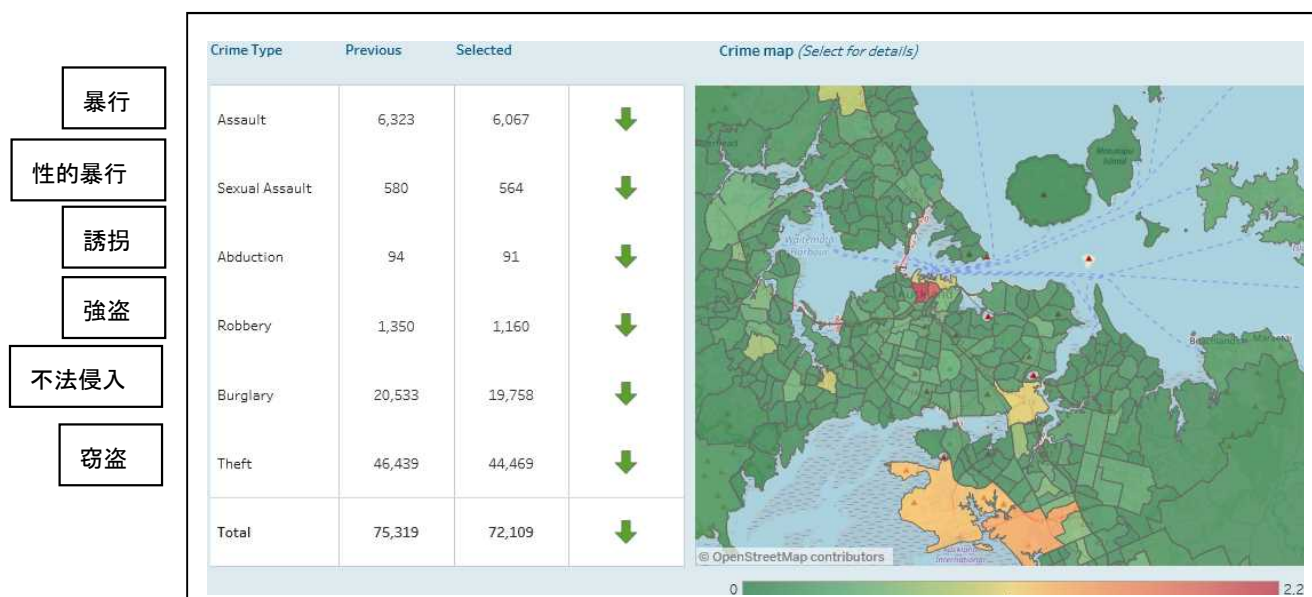
NZでは強盗や侵入窃盗、車上狙いや繁華街での暴行事件が多く発生しています。そのため防犯対策には十分な注意が必要です。また、犯罪組織メンバー同士の抗争も発生しているため、繁華街等では、争いに巻き込まれることのないよう特に注意してください。

このほかNZ国内では、薬物汚染が社会問題化しており、NZ政府は治安対策強化のため1,800名の警察職員を増員し、組織犯罪対策や各種犯罪の対策を行っています。

(3) オークランドの犯罪傾向

2019年1月～同12月のオークランド市の犯罪傾向についてオークランド警察は次の通り発表しています。

注：表の中の Previous と記された件数は、昨年同時期の事件件数です。



2 テロ・爆弾事件発生状況

現在、ニュージーランドのテロ脅威度は中間レベル(Medium)で、クライストチャーチのモスク襲撃事件後、一段階上昇しています。

New Zealand's Threat Levels	
Threat level	Definition
Negligible	Terrorist attack, or violent criminal behaviour, or violent protest activity is assessed as very unlikely.
Very Low	Terrorist attack, or violent criminal behaviour, or violent protest activity is assessed as unlikely.
Low	Terrorist attack, or violent criminal behaviour, or violent protest activity is assessed as possible, but is not expected.
Medium	Terrorist attack, or violent criminal behaviour, or violent protest activity is assessed as feasible and could well occur.
High	Terrorist attack, or violent criminal behaviour, or violent protest activity is assessed as very likely.
Extreme	Terrorist attack, or violent criminal behaviour, or violent protest activity is expected imminently.

3 ニュージーランド警察からの発表

- (1) 銃器がらみの事件への応答時間を短縮させるために、特別仕様の車両に乗った武装警官が、6か月間試験的にCounties Manukau、WaikatoおよびCanterbury地域をパトロールします。これらの3地域は、銃器の押収件数が国内で最も高く、武装警官も多く配置されています。2019年3月以降1400以上の銃器が回収されましたが、警察は毎月200件以上の銃器がらみの事件に対応しています。
- (2) プレゼントの郵送が増加するこの時期、郵便物の盗難に気をつけるよう呼びかけています。玄関わきやアパートに置かれたプレゼントは格好のターゲットになるため、郵便物の盗難を避けるには次の事柄に注意しましょう。
 - 誰かが在宅している場所または職場に配達してもらう。

- 自分が在宅時に配達してもらい、または安全な場所に置いてもらう。
- 配達指示は明確に。玄関脇やアパートの郵便受けの近くに放置しないよう依頼する。
- 配達時に不在の場合には、集配所まで取りに行く、または信頼できる人の住所へ転送依頼をする。
- 高価な品物を購入したことが通りがかりの人に分からないように、郵送物の包装の処分の仕方にも気を付ける。
- 配達車の後をつけている車に気付いたり、知らない人がドアをノックして在宅しない人のことを尋ねてくる等、不審なことがあれば警察に通報する。

(3) NZでは、警察が家庭内暴力事件に対応する件数が4分に1件に発生、先進諸国中最悪の件数を示しています。絞扼を特定の犯罪と定めた法律が2018年12月3日に施行されて以来、1年間で7000人近くのNZ人が告発され、1300人以上(毎月最低124人、ほとんど男性)が裁判事件になりました。家庭内での暴行事件では、さらに5498名が告発されています。絞扼、暴行ともに最も件数が多いのは1月です。絞扼・窒息させるという行為はもっと悪質な暴力行為にエスカレートし、死に至る可能性があると思われ、最高で懲役7年の判決となります。

4 当地の主な事件・事故

(1) 薬物犯罪

- 10月4日付NZ Herald紙によると、3日、警察はオークランド市内の10カ所の住宅を捜索し、メタンフェタミン精製所をPapakuraおよびManurewaに2カ所発見。600グラムのメタンフェタミン、盗難車、散弾銃、ライフル銃、現金\$15,000を押収、8人を逮捕した。St Johnsに於いて覚醒剤作成に使用される道具も発見された。
- 10月11日、警察は3か月に及ぶ捜査の結果、Taupoでメタンフェタミン、MDMA、LSDの販売、大麻栽培、拳銃売買の容疑で、Rebelsというギャングメンバー4人を逮捕、\$950,000相当の価値を持つ6.3ヘクタールの農地、住宅地、貴金属、ハーリーデビッドソンやクラシックカーを押収した。
- 11月18日 フィジーから到着した商用船から、Taurangaでメタンフェタミン34キロ(末端価格NZ\$17million)が押収され、フィジー国籍の30代の男が二人逮捕された。

(2) 窃盗/強盗事件および銃器による犯罪

12月3日付NZ Herald紙によると、オークランドにおける銃がらみの事件が急増しており、過去4年で147人が病院で手当を受け、保健局(DHB)負担の治療費はNZ\$2.6 million以上に及ぶ。ほとんどの原因はギャング同士の闘争や麻薬の不法取引によるが、オークランド南部では今年だけでも8件の銃器による犯罪が発生、4人が死亡、5人が重傷を負った。

- 10月11日 19:20、Taurangaの食料雑貨店に顔を隠して拳銃を持った男が押し入り強

盗に入った。

- 10月12日15:30 Whakataneの食料雑貨店に4人が銃を持って押し入り、タバコを盗んで逃走した。
- 11月16日及び17日午前3時頃、オークランド市Epsomの電子タバコ販売店で不審火発見との通報があった。車で販売店に乗り込んで放火するという手口である。被害は不明。
- 11月18日オークランド市St Heliersの店に二人の男が押し入り、うち一人は銃を所持していた。犯人は現金と煙草を盗んで逃走したが、間もなく逮捕された。
- 11月18日午前09:05 Masseyでガソリンの給油中、車の鍵をイグニッションに挿したままにしていたところ、ガソリンスタンドにやってきた二人の男に車を盗まれた。阻止しようとした車の持ち主の胸を蹴り、逃げた。
- 11月23日オークランドの高速道路SH16を運転していた女性がライフル銃で撃たれ、顔に重傷を負った。Royal Road 架道橋の下を走行中、フロントガラスを割って弾が飛んできたが、特にこの運転手が標的になったわけではないというのが警察の見解である。
- 11月24日未明、タウランガで男性がパートナーの女性をナイフで脅して立てこもっていると通報があった。女性は近所の家に避難したものの、3人の子供が家に残されたままで、犯人は、そのうちの2人の子供を人質に15時間立てこもったが、子供の安全を優先した警察官に射殺された。
- 11月27日16:30頃、オークランド市Lower Albert Streetで若い女性が歩行者の携帯をひったくり逃げようとしたが、その場に居合わせた通行者に押さえられ、阻止された。
- 11月27日Albert StreetのStamford Plaza ホテルにある高級タイレストランで、現金、鍵、アルコール類等NZ\$5000相当の窃盗被害があった。2週間前には従業員が目を離したすきに、パスポート、現金、クレジットカード入りのバックパックを盗まれた。レストランのオーナーは、道路工事のために設けられたフェンスが目隠しとなって、狙われやすい状況を作っていると述べている。隣接のカフェでも、店を出たところ買ったばかりのパイをひったくられたという被害が出ている。
- 12月13日12:30頃North Shoreのガソリンスタンドに強盗が入り、多量の煙草を盗み、盗難車で逃走した。怪我人はなく、車は後日Manurewaで発見された。

(3) オンライン詐欺

サイバーセキュリティの管理を行う政府機関、CERT NZが発表した最近の四半期報告書によれば、NZに於けるサイバー詐欺が20%、他人のログイン情報の不法入手が27%増加している。本年7月1日から9月30日の間にCERT NZに届けられた被害件数は、少なくとも1354件に及び、2017年に同期間が設置されて以来最多の件数である。金銭的な被害額は、NZ\$3.8 millionに及ぶ。ウェブカメラを使ったメールによる脅迫が28%上昇しており、年末年始にかけてさらに増加することが考えられるため、不審なメールやウェブサイトへの

アクセスに注意するよう呼びかけている。

- 11月21日ロシアの詐欺グループがNZ Herald紙の偽のウェブサイト掲載し、iPhone11を\$1で入手できると虚偽の広告を出して、クレジットカード情報を不正入手しようとした。NZ Herald紙のセキュリティ担当者により、このウェブサイトはすでに消去されたが、このような事件が起きる際には通常、同様の広告が米国や豪州でも発生する。
- 11月23日ワイカト地方で、\$8million相当のクリプトカレンシー（仮想通貨）及び銀行預金を押収。問題のサイトは著作権付きの映画を不法売買し、オンライン金融サービスを利用して米国、カナダ、NZ、ベトナム間で送金を繰り返し、マネーロンダリングを行っていた。
- 12月6日付Herald紙によると、NZ Transport Agency（以下NZTA）は、車の所有者に対し、NZTAを装った詐欺メールへの注意を喚起した。車両のライセンス（車両登録料）を更新する必要がある旨のメールが届き、リンクされたライセンス料更新のサイトにアクセスすると偽のリンクにつながる。NZTAからの正規のメールには、所有車両のメーカー、プレートナンバー、ライセンス料の失効日等詳細が記載されており、NZTAのウェブサイトのリンクもnzta.govt.nzである。（偽のリンクはnzta.co.nz）

（4）当地企業による投資詐欺事件（報道）

NZ Herald紙は、主に日本人コミュニティーを相手に営業していた当地投資企業による詐欺事件として、同企業責任者の死亡により管財人が指名され、200名以上からなる債権者が4,500万ドルの債権を申し立てていると報道。

（5）ノースショアおよびマセイで5件の連続女性暴行事件

10月10日朝07:45、Murrays Bayでジョギング中の女性が背後から襲われ、脳震盪と鎖骨骨折の怪我をしたのをはじめ、計5回にわたり、North ShoreおよびWest Aucklandで散歩中或いはジョギング中の女性が昼間襲われ怪我を負う事件が相次いで起きた。11月29日に17歳の男が逮捕されたが、警察は一人で散歩する時には周囲に細心の注意を払うよう呼びかけている。

（6）Eスクーターの事故

- 10月31日夜10:30頃、Eスクーター利用者が衝突、スクーターから転んで病院に搬送され、重傷を負った。
- 11月16日夜11:20頃、Symonds StreetでEスクーターから転落して気を失った後、走行中の車に轢かれ、重傷。
- 11月17日夜7:35頃Western SpringsでEスクーターからの転落事故があり、利用者は重傷を負った。
- 12月12日夜7:50頃 オークランド市Stonefieldsで本人所有のEスクーターから転落し、大怪我を負ったと通報があり、病院で治療を受けている。

(7) 車上荒らし多発

- 10月10日～11日の週末にかけて、Thames で約20件の車上荒らしの被害があり、事件の目撃情報を集めている。車上荒らしや車の盗難被害を防ぐためには次のことに注意。
 - 車を離れる時には鍵をかける。
 - サンルーフを含め、すべての窓を閉める。
 - 電灯がついた明るいところに駐車する。
 - ねらわれやすい物（例えばレーダー探知器）を見えないところに隠す。
 - 貴重品を車内に置かない。小銭を目当てに車上荒らしを行う犯人もいる。
 - 貴重品を車内に残す場合には、見えないところに隠す。但し、隠すよりも車内に残さないのが最善である。
 - 個人情報に記載された書類や、家・事務所・ボートの鍵などを車の中に放置しない。
- 12月10日オークランド市 Balmoral 地域で車の盗難や窃盗が増加傾向にあることを受けて、4日間の取り締まりを行い、322台の車両を確認、17人逮捕した。携帯電話やラップトップ等窃盗品も数多く押収された。
- 12月26日 同日午前10:15頃一人で交通規制を行っていた警察官がバイクを止めたところ、バイクの運転手をしていた女性が警察官の車に乗り込み、ドアをロックして乗り去った。乗り捨てられた車は Papatoetoe で12:35頃発見された。幸いにも車を盗まれた警察官に怪我はなく、車両に傷はあったものの、盗まれたものもなかった。女性は拘留された。

(8) その他

- 10月4日、オークランド空港付近の Geoffrey Roberts Road にある建物に爆発物を設置したと脅迫があり、警察、軍隊関係者および航空警備担当者がくまなく捜索したが、不審なものは見つからず、建物は安全であると判断された。
- 10月20日、警察の捜索隊は、トンガリロ国立公園で行方不明となっていた51歳の中国人観光客の遺体を発見した。遭難者は4人グループのひとりで、18日（金）からハイキングをしていたが、うち一人がグループからはぐれて行方不明となっていた。
- 12月9日14:11頃 ホワイト島で火山が噴火した。当時47名の観光客(国籍の内訳は豪州、米国、NZ、ドイツ、英国、中国、マレーシア)が島を訪問しており、その中の多くはクルーズ船の現地オプションツアーで現地を訪れ、火山見学をしていた。12月23日時点での死者は17名に上る。
- 12月9日付ヘラルド紙版は、1998年9月22日に Queen St のビルの物入れの中から死体で発見された当時29歳の松澤嘉世さんの殺人事件を「A Moment In Crime」と題し、事件のあらまし及び事件の捜査担当警察官へのインタビューを12月13日よりポッドキャスト (iHeartRadio, Google Podcasts, Spotify or Apple Podcasts で

ダウンロード可能)で配信すると報道。この事件は、21年後も犯人が捕まらず迷宮入りとなっている。(ヘラルド紙の犯罪記事担当 Anna Leask が毎月NZにおける大事件を取り上げ配信。第1話は本年3月15日に起きたクライストチャーチのテロ事件、第2話2009年の幼児 Aisling Symes 死亡事件に続き、第3話で松澤嘉世さんの事件を取り上げた。)

- 12月12日午前7時、オークランド市 New Lynn 駅に不審物が発見されたと通報があった。警察及び Defence Force により不審物は安全に処理され、しばらく止まっていた電車等公共交通手段も間もなく運航を再開した。

5 日本人が巻き込まれた案件

【場 所】 オークランド市 Queen Street

【被害者】 日本人男性(30代)

明け方までお酒を飲んだ後、タクシーで帰宅しようとしたが、その後意識がなく、気が付けば顔左半分に暴行を受けていることに気づき、救急車で病院に搬送された。骨が陥没する大怪我で、2度の手術が必要。犯人は不明で、持ち物の盗難の被害は無い。

【場 所】 オークランド市 Milford 自宅

【被害者】 日本人女性(50代)

外出中(18:30~21:30)に、キッチンの窓の鍵を工具で壊して侵入。パスポート、アクセサリ、デジタルカメラ、ノート型パソコン、iPad、ヒーター、バッグ他が盗まれた。

以上